

NPO法人

ふくしま30年プロジェクト

食品放射能測定結果報告



NPO法人 ふくしま30年プロジェクト
食品測定担当 阿部浩美

市民自らが放射能測定をする意味とは？



「NPO法人 ふくしま30年プロジェクト」は、東京電力福島第1原発事故による放射能汚染に直面し、放射能防護に対する判断材料を求める市民に対しての総合的な支援活動を行う事を目的に設立されました。

NaIシンチレーターとGe半導体検出器

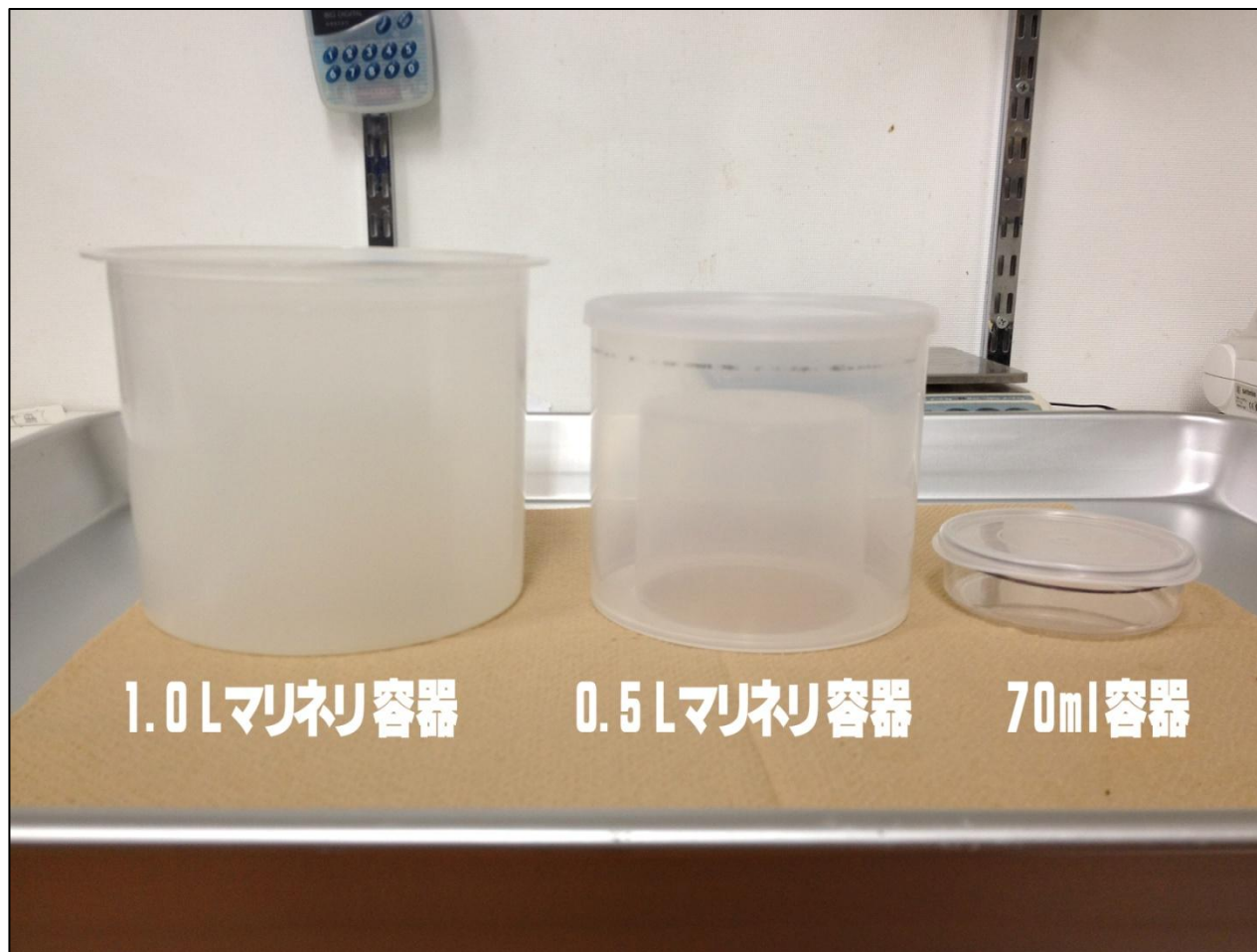


ATOMTEX AT1320A
(2.5インチNaI(Tl)シンチレーション式)



Princeton Gamma-Tech NIGC16190SD
(ゲルマニウム半導体検出器、相対効率19.75%)

Ge半導体検出器用測定容器の種類



3種類の容器があり、少量の検体測定にも対応できる。

食品・環境放射能測定のコスト

「NaIシンチレーター」と「ゲルマニウム半導体検出器」の二種類の測定コースを用意しています。

水・食品の放射能測定



ヨウ化ナトリウム・シンチレーター

AT1320A

※検出限界値: Cs-137, Cs-134 各核種につき (密度 1.0 の場合の値)

1800 秒スクリーニング 検出限界 各核種 5Bq/kg

料金 ¥1500

ゲルマニウム半導体検出器

PGT-NIGC1690SD

精密測定

※検出限界値: Cs-137, Cs-134 各核種につき (密度 1.0 の場合の値)

1 時間測定 (3600 秒) 検出限界 各核種 1Bq/kg

料金 基本料金 ¥5500 (持ち込みの場合 ¥4000)

3 時間測定 (10800 秒) 検出限界 各核種 0.5Bq/kg

料金 基本料金 ¥10000 (持ち込みの場合 ¥8500)

6 時間測定 (21600 秒) 検出限界 各核種 0.35Bq/kg

料金 基本料金 ¥15000 (持ち込みの場合 ¥13500)

12 時間測定 (43200 秒) 検出限界 各核種 0.2Bq/kg

料金 基本料金 ¥20000 (持ち込みの場合 ¥18500)

※各測定の検出限界はサンプルにより異なります。
※料金はすべて消費税込みの価格となります。

NPO 法人 ふくしま30年 プロジェクト

福島市置賜町 8-8 パセナカ Misse 1F
TEL 024-573-5697 FAX 024-573-5698
URL: <http://fukushima-30pj.blogspot.jp>
E-Mail: crms_info@gmail.com

■食品測定
■WBC による体内測定
■関連書籍の販売

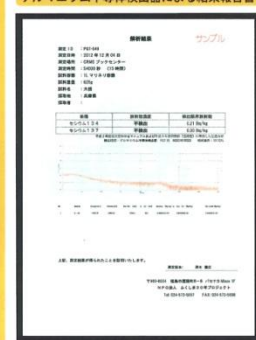


図13 パセナカ通り 医療センター

【ゲルマニウム半導体検出器コース料金表】

時間	測定料金	およその検出限界値
3600 秒 (1 時間)	基本料金: 5500 円 (持ち込みの場合 4000 円)	1kg の場合 各核種 1Bq/kg 500g の場合 各核種 2Bq/kg 100g の場合 各核種 8Bq/kg
10800 秒 (3 時間)	基本料金: 10000 円 (持ち込みの場合 8500 円)	1kg の場合 各核種 0.5Bq/kg 500g の場合 各核種 1Bq/kg 100g の場合 各核種 4Bq/kg
21600 秒 (6 時間)	基本料金: 15000 円 (持ち込みの場合 13500 円)	1kg の場合 各核種 0.35Bq/kg 500g の場合 各核種 0.8Bq/kg 100g の場合 各核種 2.5Bq/kg
43200 秒 (12 時間)	基本料金: 20000 円 (持ち込みの場合 18500 円)	1kg の場合 各核種 0.2Bq/kg 500g の場合 各核種 0.5Bq/kg 100g の場合 各核種 2Bq/kg

ゲルマニウム半導体検出器による結果報告書



郵送についての測定の場合は
事前に料金の振り込みを完了させて下さい。

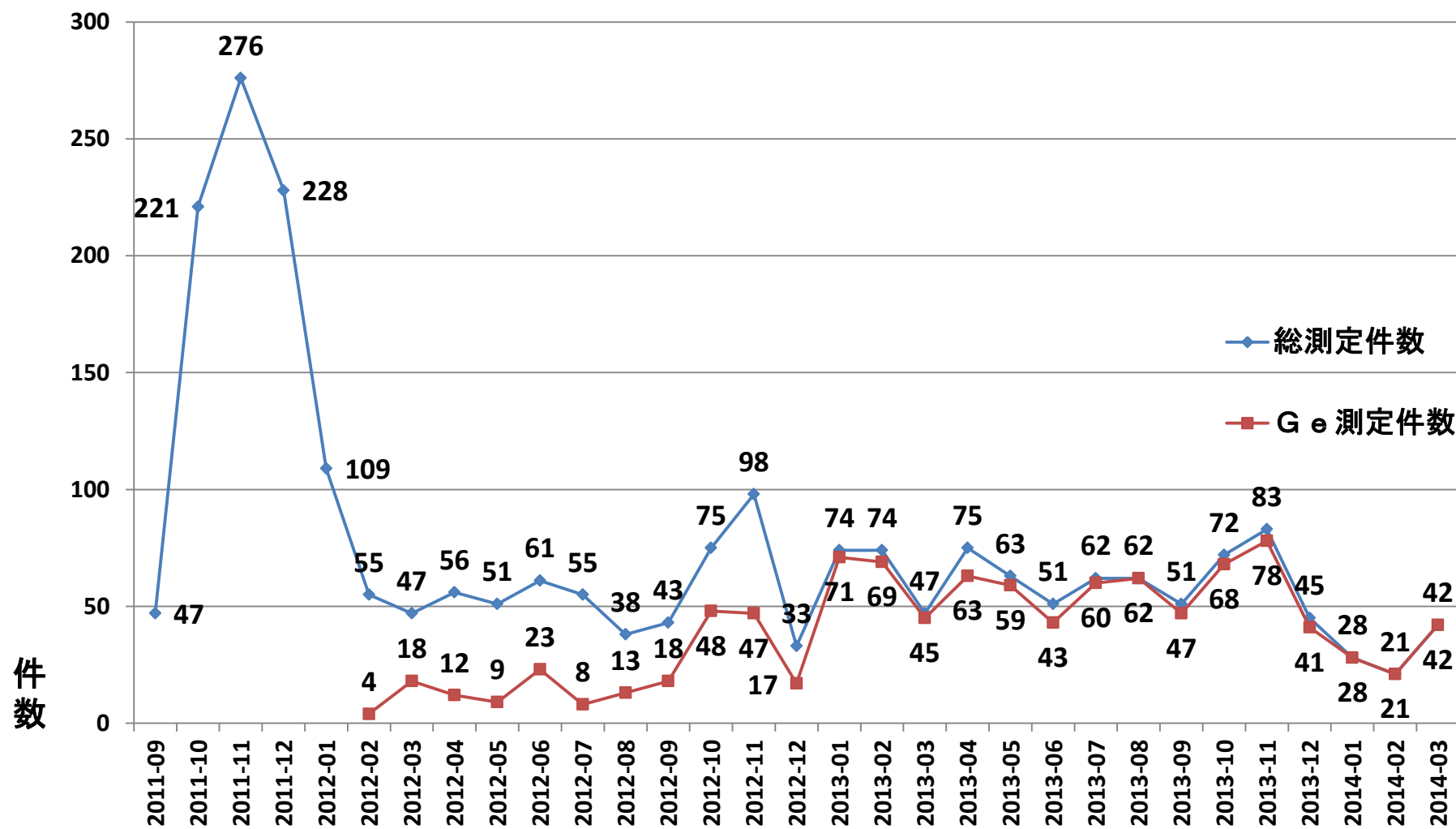
振込先
【銀行名】 東邦銀行
【店名】 本店営業部
【口座番号】 101
【口座種別】 普通預金
【口座番号】 3738380
【名称】 NPO 法人 ふくしま30年プロジェクト
エヌピーオーのワン・フクシマ・プロジェクト

ゲルマニウム半導体検出器 検出限界

1時間 1.0L 各核種 1Bq/kg
0.5L 各核種 2Bq/kg
70ml 各核種 8Bq/kg

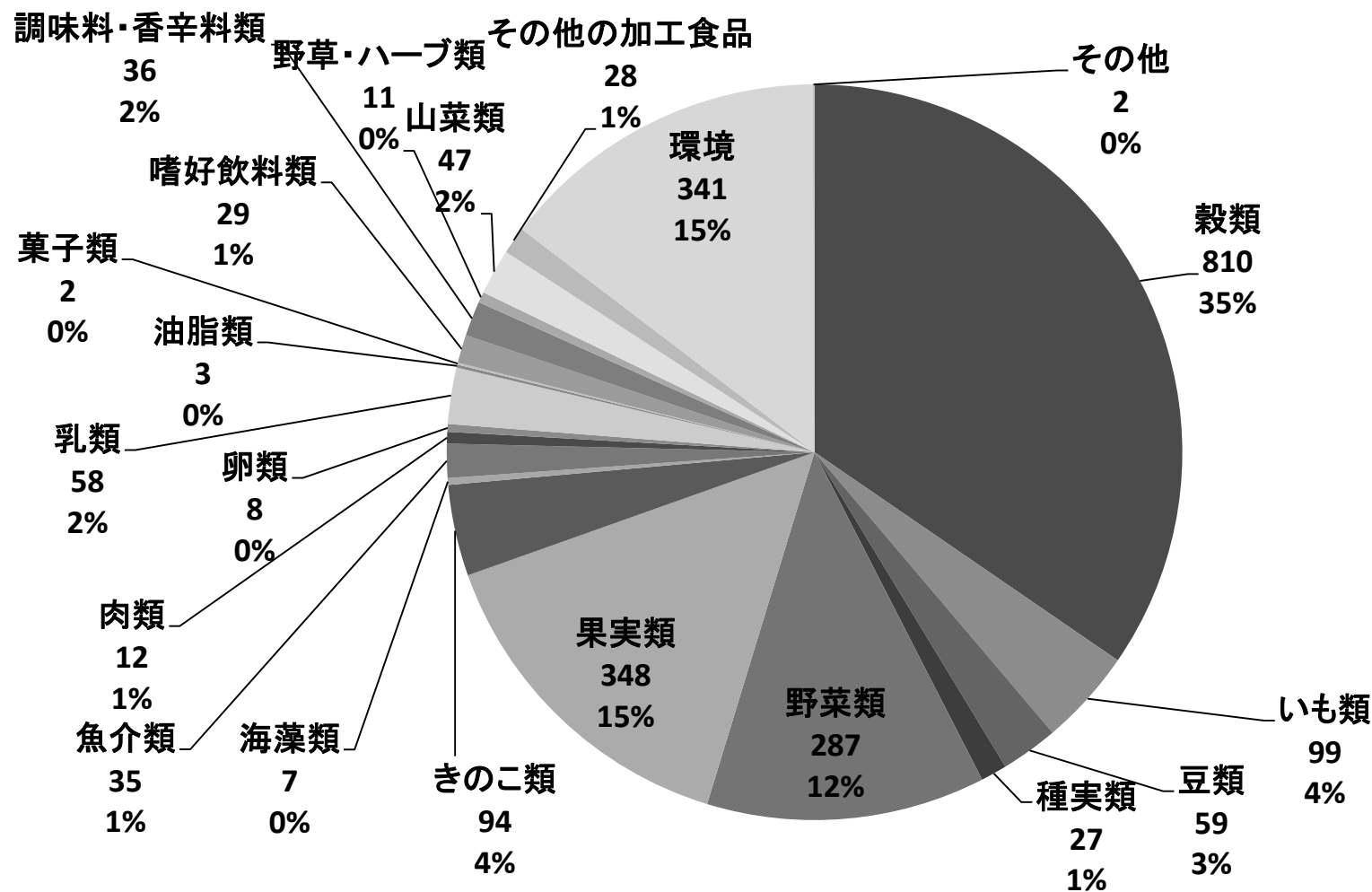
AT1320A 検出限界
30分測定 各核種 5Bq/kg

測定件数(年月別)



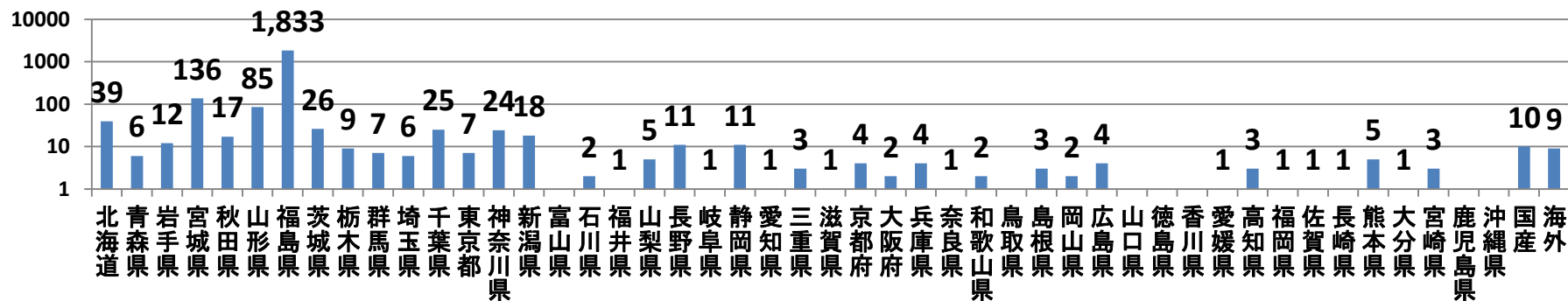
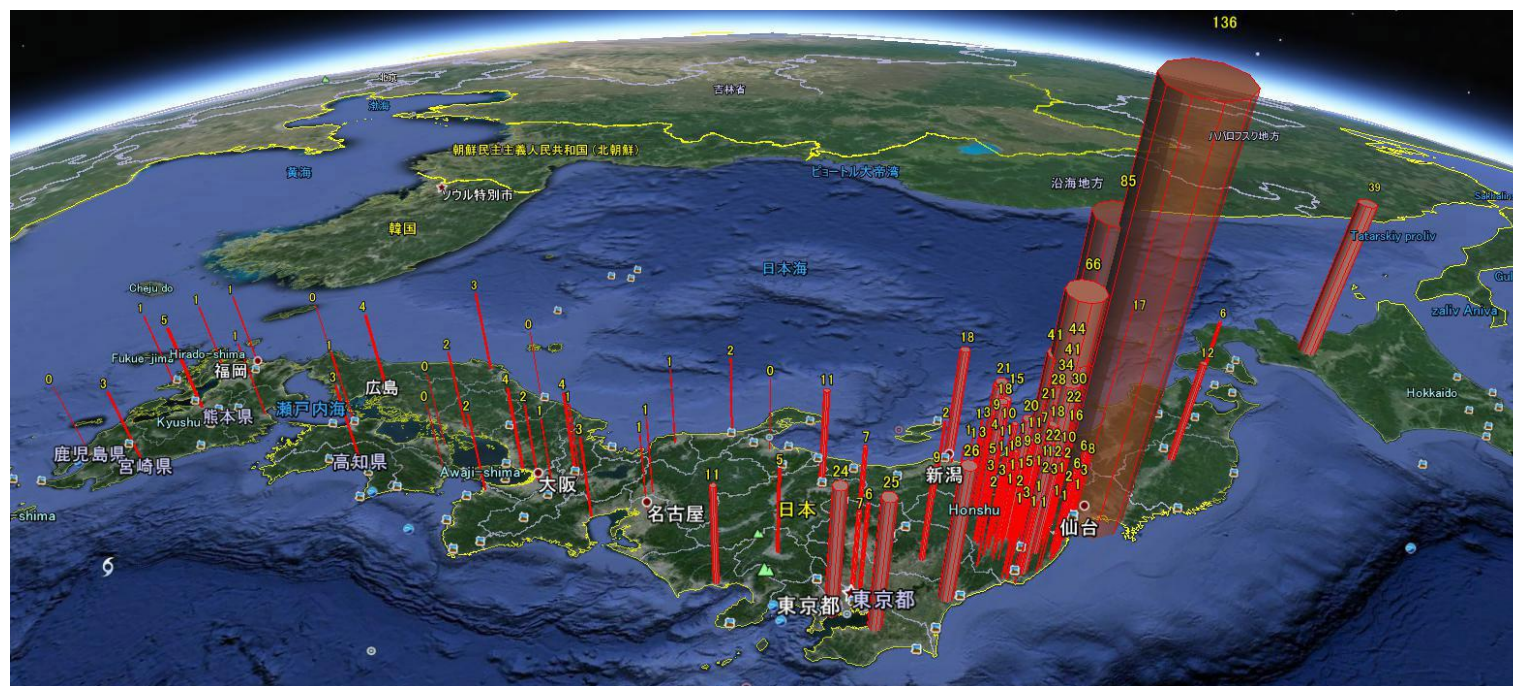
2014年3月31日現在 トータル測定件数 2344件

食品別測定件数



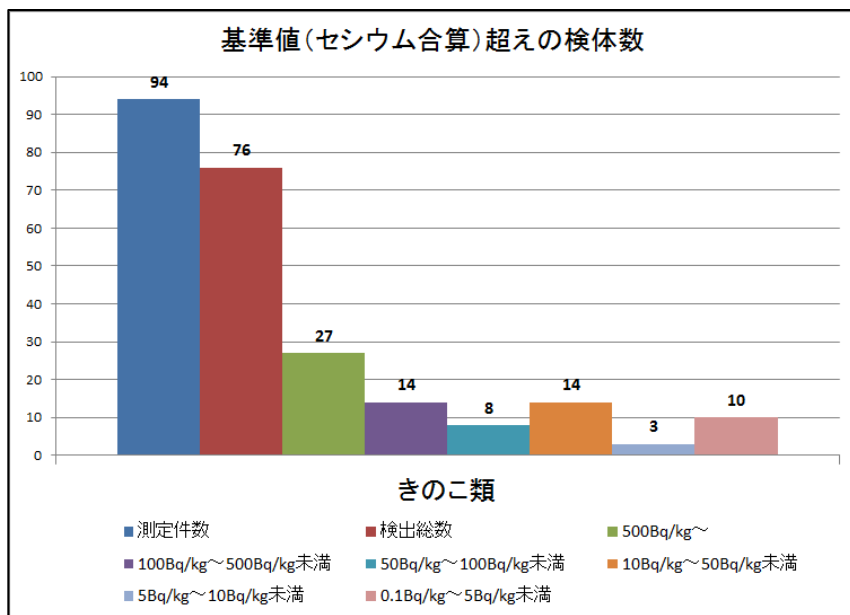
* 食品の分類は「みんなのデータサイト」の分類に準じています。

産地別測定件数

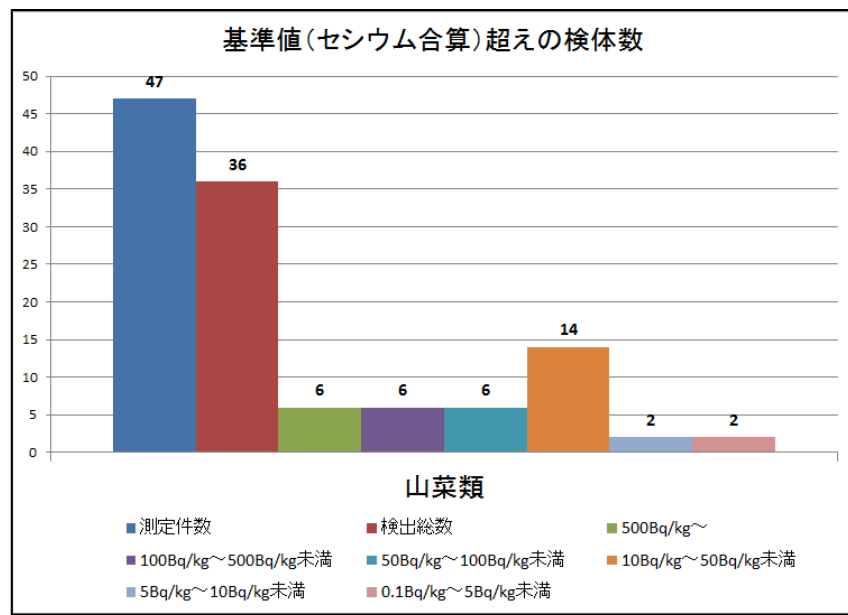


基準値(セシウム合算)超えの検体数

種類	測定件数	検出件数	100Bq/kg超え 件数	検出率(%)	100Bq/kg超え 検出率(%)
穀類	810	511	15	63	1.9
いも・豆・種実・野菜類	472	192	15	41	3.2
果実類	348	192	37	55	19.3
きのこ類	94	76	41	81	43.6
山菜類	47	36	12	77	25.5



きのこ類



山菜類

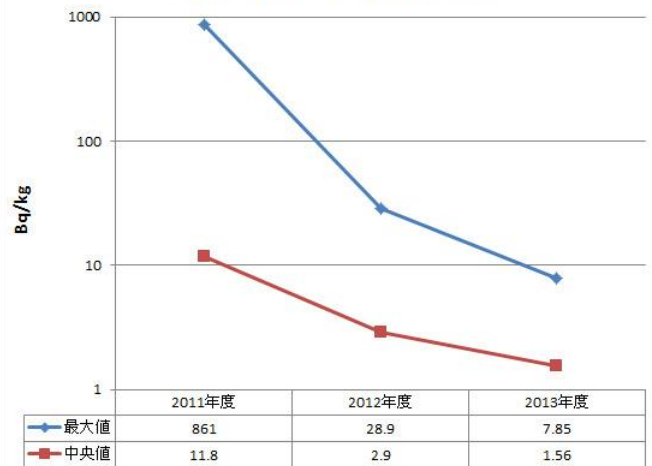
食品種別ごとのセシウム検出最大値

種類	品目	セシウム合計最大値(Bq/kg)
穀類	H23年度産あきたこまち玄米	861
いも・豆・種実・野菜類	栗	688
いも・豆・種実・野菜類	大豆	688
果実類	ゆず	1,260
きのこ類	きのこ(松茸・しめじ)	26,580
山菜類	フキノトウ	16,879

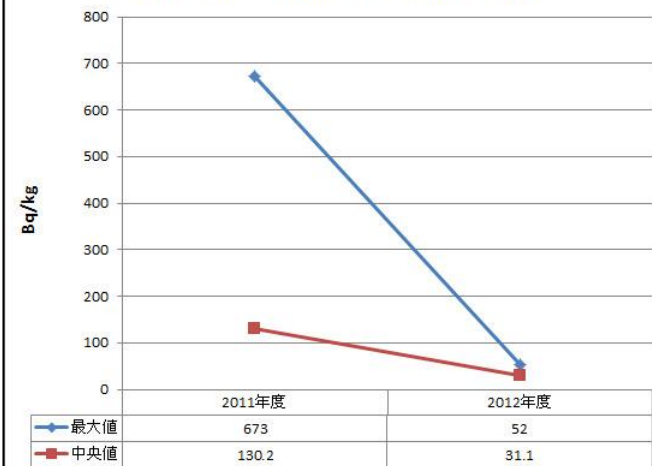
米、栗、大豆、ゆず共にH23年度産が最大値となっているが、きのここと山菜はH25年度産が最大値となっている。
ただし、どちらも汚染が高い飯舘村や浪江町赤字木で採ってきた物である。

セシウムの経年変化 (1)

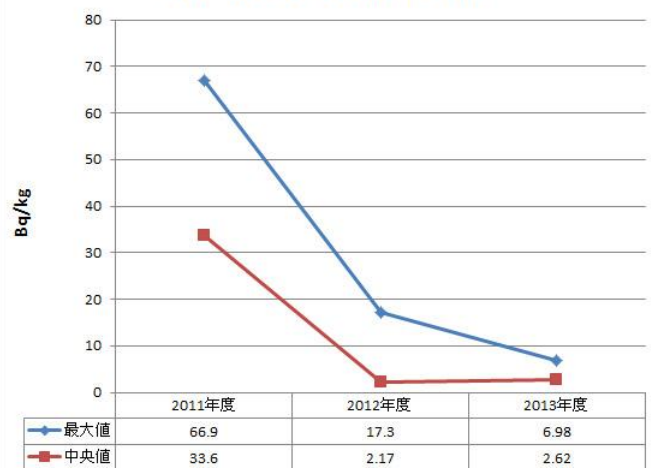
玄米のセシウム経年変化



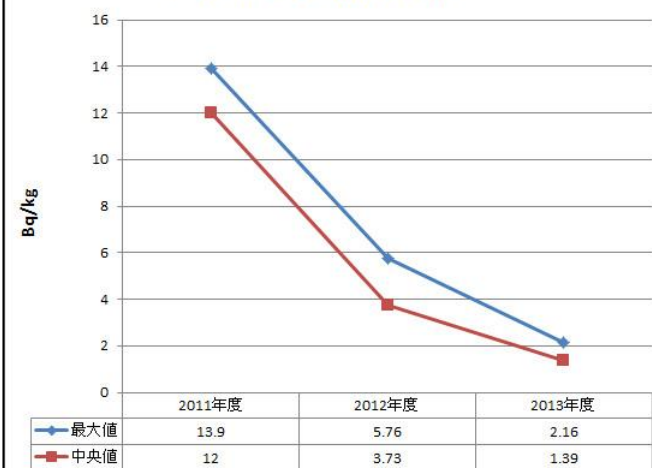
キウイフルーツのセシウム経年変化



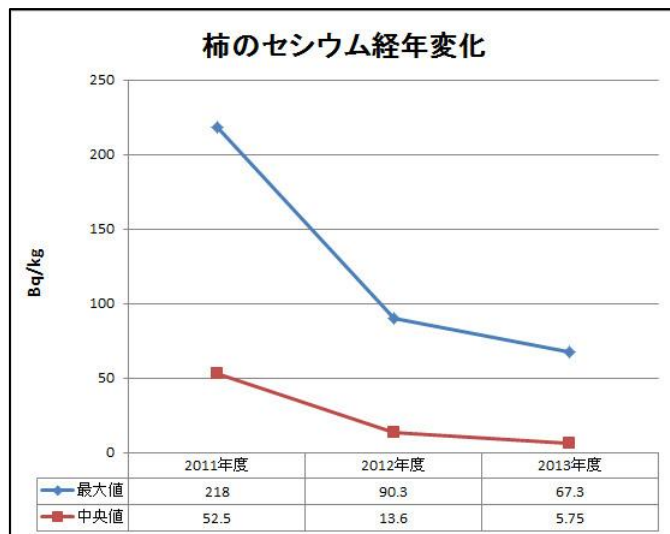
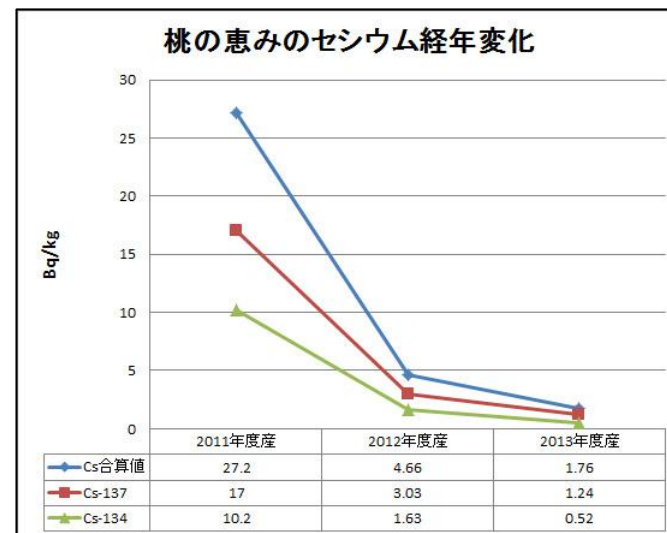
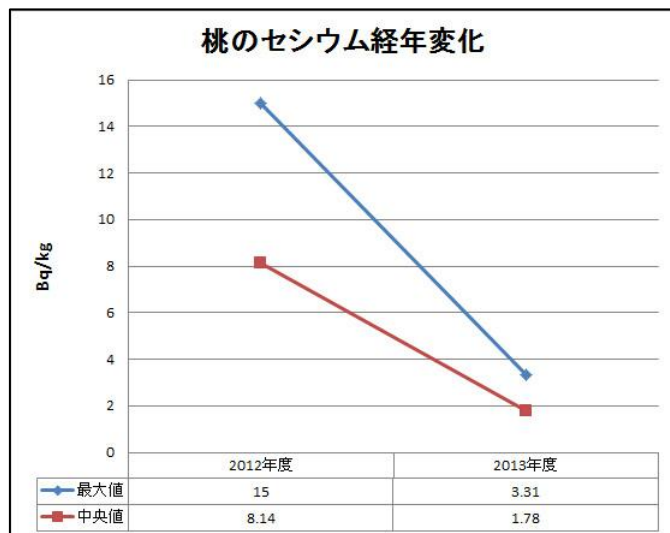
りんごのセシウム経年変化



梨のセシウム経年変化



セシウムの経年変化 (2)



米はカリを撒く、果実関係は粗皮削り(あらかじめわけずり)をすることでセシウムの移行を抑えた。福島県農業総合センター果樹研究所の発表によると粗皮を形成する果樹は粗皮削りを実施することでセシウムが80～90%減少した。また、柿は経年でのセシウムの数値の下がり方が他の果実より鈍いのは果樹農家以外の自家消費の物が多いからとも考えられる。

玄米からご飯までのセシウムの推移



種類	Cs-134 (Bq/kg)	Cs-137 (Bq/kg)	Cs合算 (Bq/kg)	種類	Cs-134 (Bq/kg)	Cs-137 (Bq/kg)	Cs合算 (Bq/kg)
コシヒカリ玄米	17.5	47.5	65	コガネモチ玄米	49.2	124	173
コシヒカリ精米	7.27	19.3	26.6	コガネモチ精米	21.6	52.2	73.8
コシヒカリご飯	2.13	5.96	8.1	コガネモチおこわ	7.27	16.5	23.8

南相馬市小高区耳谷 H25年度産

測り続けることで見えてきたこと

- 農作物は人が手をかけることでセシウムの移行を大幅に抑制できた。
- しかし、山菜や野生のきのこは除染がほぼ不可能な場所で生育する事と、セシウムを濃縮しやすい性質のため大幅に基準値超えをすることが多い。
- 魚介類については、流通品ということで依頼件数が少なく、傾向を把握できていない。

終わります

ありがとうございました。